

猫の避妊手術(女の子)

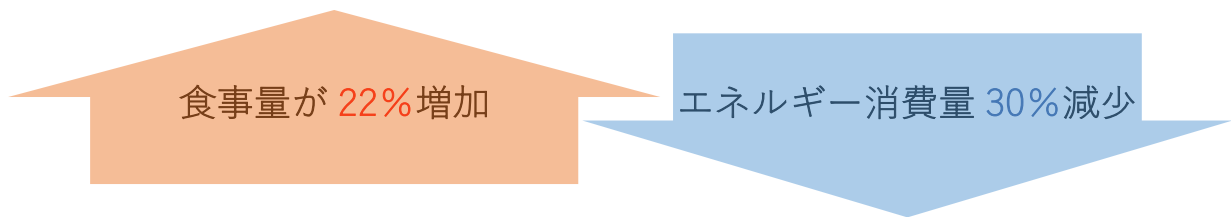
目的

- ① 望まれない妊娠の防止
- ② 病気の予防
- ③ 問題行動の防止

効果

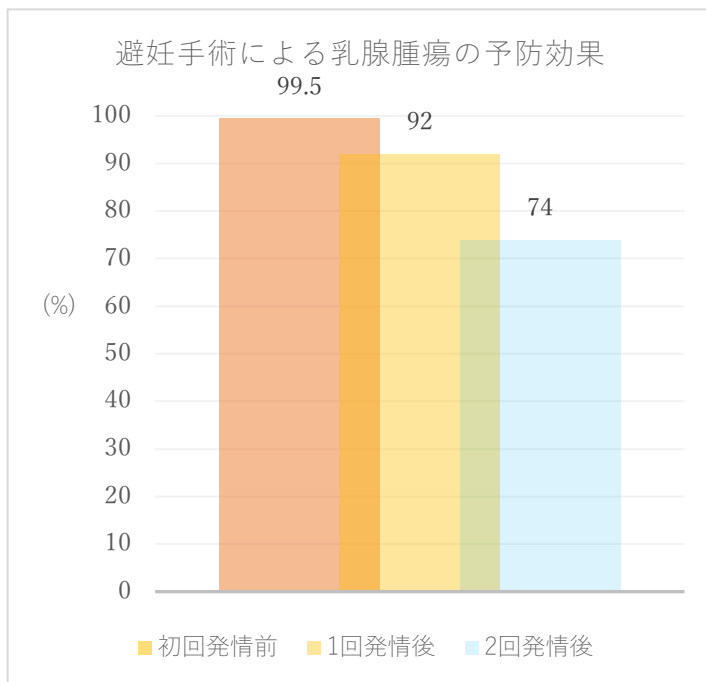
- ➡ 妊娠しなくなる
- ➡ 卵巣・子宮の病気、乳腺腫瘍などの予防
- ➡ 発情期の激しい鳴き声、放浪の防止
攻撃性、尿マーキングなどの軽減

注意点 避妊手術後は太りやすくなります



避妊手術と乳腺腫瘍（乳がん）の関係

- ◇ 高齢になると乳腺腫瘍の発生がみられます。
猫の乳腺腫瘍は非常に悪性のものが多いのが特徴です。
- ◇ 乳腺腫瘍の発生は、若いころのホルモンに関連していると考えられています。
- ◇ **早期**に避妊手術を行うことで、乳腺腫瘍の高い予防効果が得られます



◇ 手術について

- 推奨時期：6ヶ月齢以降
- 手術方法：お腹を開いて卵巣と子宮を取り出します
- 入院：1泊2日
- 抜糸：なし（1週間後再診）

◇ その他の検査

外出することがある、または外で保護した場合はウィルス検査（※）をしておきましょう。

※ 猫白血病・猫エイズウィルス検査

備考

もりた動物病院

